

糸ばたかいき

2024年号
(株)アナンダ
〒408-0033
山梨県北杜市長坂町白井沢2995



藍染め

箱チャカルカ

藍色の濃淡～他の色と合わせて緑色も 藍染めをしよう！

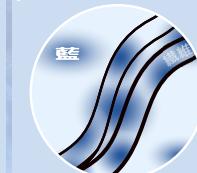
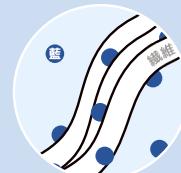
アナダの「賢い藍染めセット」を使って、仕組みを解りながら藍染めしましょう！まずは羊毛で藍色の濃淡ができるれば、他の色と合わせて、緑色やより深い色も。また、コットンのTシャツやハンカチ、絞り染めだって簡単です！

手や作業場を汚さずに、安全で誰にでも簡単に染められるので、台所に藍染めが普及しますよ。

藍染めのしくみ

普通の染めは、染料から抽出した色素を繊維に染み込ませて染めますが、藍染めは、そのままでは水に溶けない藍を、一時的に溶けるようにしてから、繊維に染み込ませ、再び空気に触れさせることによって、繊維の中で水に溶けない状態に戻すという手順で染めます。色が繊維の中で定着するので、とてもしっかりと染まります。

そのまま → 還元する → 元に戻す



用意するもの

ここではウールの写真を使って話を進めますが、一回の作業でたくさん染めた方が楽ですので、この際色々な素材を染めてみましょう。なお、熱湯・強アルカリを使いますので、周囲に子供やペット、全く別の作業をしている人などがいない方が安全です。



賢い藍染めセット

- 天然インド沈殿藍 (10g)
- ソーダ灰
- ハイドロサルファイト
- 小ポリ袋 (藍建て用)
- 大ポリ袋 (染浴用)



染めるもの x 1kg

←この写真がだいたい1キロ。洗い済み原毛、トップ、毛糸、ショール、布などなど、一回の作業で結構染められます！

道具など

- 汚れてもいい格好と場所
- 乳鉢と乳棒（藍を碎く）
- 紙コップ（ポリ袋を立てる）
- 軍手（熱いものを触る）



① 藍を建てる

このステップでは、染めるものを浸す藍の染液を作ります。藍に還元剤（ハイドロサルファイトとソーダ灰）を加えて還元させ、水に溶ける性質に変化させます。これを藍建てといいます。

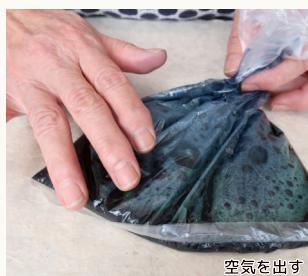
1. 藍を細かく碎く

藍を乳鉢に出して、乳棒を使ってできるだけ細かくすり潰します。下写真的細かさを目安に、大きな粒が残らないようにして下さい。



4. ポリ袋内の空気を出す

軍手をした手でポリ袋全体をそっと握り、袋内の空気をポリ袋の口に集めて外に圧し出したら、口をねじって閉じます。（結びません）



5. 還元が終わるのを待つ

ポリ袋の口を持ち、底に沈んでいる藍をもんで溶かします。すると、液体が黄緑色から緑色になります。還元は5~6分位で完了します。

【注意】還元剤を吸い込まない様に注意。

また皮膚、衣類、塗装面等に着いた時は、すぐに水洗いして下さい。

還元しない場合は温度をチェック！
原因は以下のどちらかです。解決は簡単！

温度が低い

袋を湯煎→温度を上げる
(60~80°C)

還元剤が古い

袋を湯煎→温度を上げる
(60~80°C)

新しい還元剤を加える

② 染浴を作る

1. 大ポリ袋にお湯を入れる

大ポリ袋に60°C位のお湯を注ぎます。お湯の量は、ポリ袋を横たえて口を持ち上げた時に、袋の2/3が膨らむ程度*です。



大ポリ袋にお湯を入れて、空気を追い出す

2. 大ポリ袋に小ポリ袋を入れる

大ポリ袋の中の空気をできるだけ出したら、前のステップで作った染液の入った小ポリ袋をそのまま入れます。



大ポリ袋中に小ポリ袋を入れて染液を放出

3. 染液を全体にいき渡らせる

大ポリ袋の外側から、小ポリ袋を圧して口を開き、中から出た染液を染浴全体にいき渡らせます。大ポリ袋の口はねじって閉じます。



染液を全体に行き渡らせる

③ 染める

1. 染めるものを入れる

染めるものは乾いた状態です。大ポリ袋の口から染めるものを入れて、空気を追い出しながら、静かに沈めていきます。この時、袋の底を持ち上げながら、口の方の液面を上げることによって空気を追い出すのがコツです。染めるもの全体に染液が染み込んだら、口をねじって閉じます。



染めるものを入れる



空気を追い出しながら沈める



染液をまんべんなく染み込ませる



染めるものを泳がせる

2. 染液を染み込ませる

染めるものを袋の外側から圧して、さらに空気を押し出します。染めるものを広げたり動かしたりしながら、全体にまんべんなく、また纖維の中まで染液を出入りさせるつもりで、5分ほど続けます。



圧すことによって染液を行き来させる

藍染め基礎知識 & コツ 1

染めるものは乾いている状態で

繊維が乾いていれば染液が深くまで浸透します。脂分がある原毛などの場合は、染液に液体洗剤を数滴垂らして浸透を助けています。



かせを束ねる紐はゆるく結く

糸をむらなく染めたい場合は、染液がいき渡るように、かせを束ねる紐をゆるく結きます。

泡立たないように気をつける

染めるものの出し入れをする時は、空気が混じらないように、ゆっくり静かに作業をします。

浸ける時間と色の濃さ

長く浸けて置いても、染液の濃さ以上に濃く染まることはあります。濃い色にしたい場合は、染めては乾かしを繰り返します。

フェルト化に注意（ウール）

液中でウールを扱う時は、纖維を横方向に擦るような動作を避けて、あくまで圧し洗い。染液を纖維の間に行き来させる感覚です。

液から出したらすぐ rinsing (ウール)

ウールはアルカリ性に弱いので、お酢を入れたぬるま湯でrinseをして中和させます。

④ 染めたものを取り出す

1. 染めたものを口の方に寄せる

染液の中の染めたものを、ポリ袋の口の方へ寄せます。



2. 染めたものと染液を分ける

染めたものと染液に段差をつけて、染液だけを袋の底に下ろします。



3. 染液を絞りきる

染めたものと染液が完全に分かれたら、染液に空気が入らない様に、その間をねじります。



4. 染めたものをたらいに出す

空気に触れた藍が酸化して、還元前の状態に戻り、繊維に藍色が定着し始めます。



5 空気にさらす

全体を空気にさらして、酸化を終わらせます。この時に繊維の外で酸化した藍は、青い粉となって洗濯の度に少しづつ落ちます。



6 すすぎとrinス

完全に酸化させた後、ぬるま湯で数回すいで、脱水機で脱水、再びぬるま湯に浸して、そこに少量のお酢を加えて、rinスします。アルカリ性から弱酸性への中和rinスは、ウールの場合特に必要です。再び脱水、干したらできあがり。

応用 絞り染め & むら染め糸

作業の流れが解れば、絞り染めも簡単！
とにかく1キロ染めてみましょう！

布を結ぶ、紐で縛る、棒に巻く、縫った糸を引っ張ってシワを作る、布を畳んで割り箸で挟む、型板をつかうなどなど、いろんな絞り方を工夫して、独自の柄にチャレンジして下さい。

染めるもの1Kgの目安（色の濃淡にも注目）



ショールを絞り染め



むら染め糸ラグ織り



藍染め基礎知識 & コツ 2

一回の作業で色素を使い切るのがおすすめ

還元の作業や新しい還元剤の入手を考えると、あらかじめいくつか染めるものを用意しておいて、次から次へと続けて染めてしまうのがオススメです。後になるほど色は薄くなりますが、淡い藍色もとてもきれいです。無駄なく色素を使うと染液が透明になります。

染液が冷えて染まりにくくなったら

ポリ袋と染液が青くなってしまったら、染液を湯煎して温度を60°C位まで上げて再び還元させます。しばらく待って、染液の色が黄緑色に変化しない場合は、新しい還元剤を加えます。長い時間が経った場合でも、同じ方法で還元しさえすれば染められますので、色素の残った染液は捨てないようにしましょう。また、この時に、藍の粉を加えることによって、色を濃くすることもできます。

使用済みの染液の処理

残った染液は、お酢を加えて庭にまくか下水に流して大丈夫です。下水に捨てて、害になるほどアルカリは強くありません。

藍について

古代エジプトからこれまで、世界中で広く行われてきた藍染めは、その昔、石灰と微生物を使って「藍建て」が行われていました。近代では、発酵の時間や複雑な工程が必要のない、ソーダ灰とハイドロを用了めた方法が主となっています。藍染めは、その魅力的な色と堅牢度の高さから、今でも様々な製品に使われています。

天然の沈殿藍を使用

日本で伝統的に使われている藍は、タデ科の植物ですが、インドの藍は、マメ科の植物です。アナンダの藍は、藍の本場のインド産。収穫した大量の葉を、大きなプールに入れて沈殿させるという古典的な方法で作られています。



インド藍
ナンバンコマツナギ (*Indigofera suffruticosa*)
出典: Wikimedia Commons

シンプル！コンパクト！アナンダオリジナル！ ボックスチャルカ

蓋を開けたらすぐに使える。音が静かで安定感がある。¥11,000（税込）！

コットン紡ぎに必要なものが全て入った箱型紡ぎ車。簡単なセットアップで、家のどこででも、また旅先でもすぐに紡げます。インド製の部品とアナンダ製の部品を組み合わせてアナンダで生産。アフターサポートもバッチリです。生活の中にコットン紡ぎの時間をぜひ取り入れてみて下さい。



サイズ

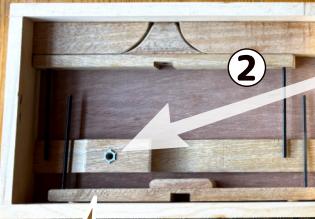
収納時：26cm* x 18cm x 7cm
開いた時の長さ：53cm*
重さ：約1.2kg

付属品

タクワ x 2、クランプ x 1、富士山型かせとり棒 x 1、ドライブベルト x 1、タクワドライブベルト x 1、滑り止めシート x 1
タクワホルダー
ブーニー（別売り）



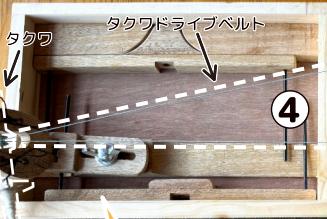
① 小大のディスクを外して、タクワホルダーを取り出します。



② タクワホルダーをフタ側の作業位置に取り付けます。



③ 小大のディスクを戻して、ドライブベルトを取り付けます。



④ 小ディスクとタクワをタクワドライブベルトでつなぎます。
*タクワはベルトのテンションで固定されます。



新入荷！

フリースカーデッド

リジット筒（30羽）で織った後に、折りたたんで
レインボ染めしました。簡単です！



新入荷

フリースカーデッド
ポルワス ¥1,100/100g
3種の中では特に柔らかく膨らみ
有り。優しい肌触りなのでマフ
ラーや帽子にオススメ。



新入荷

フリースカーデッド
ハーフブレッド ¥1,100/100g
ポルワスよりもやや張りが有
る。白～茶の自然な色の混ざり
具合が面白いです。



新入荷

フリースカーデッド
コリデール ¥1,100/100g
柔らかさと張りがバランス良く
紡ぎやすい。フリース紡ぎに挑
戦してみたい人に最適。

おすすめ&新入荷

ウールトップ

湯通し前



新入荷

ポルワスTOP タスマニア産
¥660/100g

やや生成り、湯通しすると驚くほどむ
っちりした弾力が出て糸が膨らむ。



おすすめ

ポルワスTOP NZ産
¥660/100g

メリノよりコシが強く見事な艶と輝
きがある。マフラーなどにオススメ。



新入荷

ロムニーTOP ¥495/100g

ヨーロッパ産32mic、スライバーより若
干太め長毛で膨らみとシャリ感有り。



新入荷

マンクスTOP ¥825/100g

しなやかでコシのある独特の毛質
30mic、優しいキャラメル色。

とっても柔らか！

ヤク&ベビーキャメル



ヤク ウェッブ
グレー
¥308/10g

まるでカシミアを思わせるような柔ら
かさ。贅沢にセーターはいかが？

ベビーキャメル ウェッブ
ベージュ
¥286/10g

ラクダの内毛はとても柔らかく保温性
抜群。カーディガンやショールに。



ベビーキャメル ウェッブ
茶
¥286/10g

こちらも柔らかい内毛。やや甘撚りに紡いだ双糸を使ってベレー帽に挑戦。
縮絨すると起毛してふわふわな編み地に変身！

おすすめ！

紡績糸



経糸藍染した糸とライト、ミディアム三本引き
揃え緯糸は紡いたヤクの原毛グレーを使用。出来上がり80g、柔らかく軽い。



ヤク×モンゴルファイン紡績糸
¥1,430/50g玉 ¥27,500/約990gコーン
ヤク30%モンゴルファインウール70%混率。細番手の単糸で
ライト・ミディアム・
ダークの3色。



この冊子内に表記の価格は、すべて税込み価格です。

アルル産ウール紡績糸

¥440/50g玉 ¥7,700/約1kgコーン
とても柔らかく膨らみのある細番手の双糸。何本か
引き揃えて編んだり
織りの経糸にも才
ススメ。



アルパカ×NZラムウール紡績糸

¥660/100g玉 ¥5,500/約950gコーン
アルパカの張りとラムの膨
らみがブレンドされた細
番手の単糸。起
毛するので雰
囲気のある仕
上がりに。



日常使いにどうぞ！ カディ布



カディ
ハンカチ白 ¥440
約40cm角



カディ
ナップキン白 ¥550
約50cm角



カディ
ナップキン ¥440
約50×60cm

綿ナップキン格子柄
青紫/緑紫 ¥561
約50cm角



カディ
マルチカバー
¥3,850
約130×225cm



カディ
スラブマルチカバー
¥2,750
約130×180cm



カディ
綾織生成りシーツ ¥3,850
約130×250cm

ニュース

糸ばたかいぎが大幅アップデート！

この度、糸ばたかいぎのアップデートに伴い、オンライン版を強化することになりました！

もちろん印刷版も継続（内容は全く同じです！）、ただこれからはご注文の荷物に同封、店頭での配布、そして発送はホームページから購読の申し込みをされた方へのみとなります。

ノウハウや知識を中心とした内容に！

これまでの発送の経費から、どうしても販売促進が中心でしたが、このアップデートによって、より「作ること」の記事に力をいれられる様になります。様々なノウハウや作品例など、どうぞご期待下さい！

旬の情報はホームページとメルマガで！

おすすめ商品、講習会やイベントの情報は、ホームページとメルマガでタイムリーにお知らせします！ぜひメルマガに登録して下さい！

印刷版をご希望の方は、購読のお申し込みが必要です。

無料の印刷版はこれが最後となります。年に一度は何かを注文する、またアナンダに来ることがあるという方以外で、印刷版の配送をご希望の方は、一部¥300でお送りします。ホームページよりお申し込み下さい。



糸ばたかいぎは、アナンダのホームページから
無料でダウンロードできます！www.ananda.jp

アナンダにぜひお越しください

山梨県北杜市のアナンダにぜひお越し下さい。講習会、イベントの予定は以下の通り。毎日講習はいつでもご予約いただけます。

講習会＆イベント予定

2024年

9月 月イチ講習会
インドもの祭り

10月 月イチ講習会

11月 フリース荷開き祭

2025年

4月 月イチ講習会

5月 月イチ講習会

7月 夏の講習会

8月 夏の講習会

*出張講習会の予定は、ホームページとメルマガでお知らせします。

アナンダ食堂



予約で昼食もアナンダ
でどうぞ！平日のみ。

グループ旅行

2025年

インド木版更紗旅行

2月下旬～3月初め（12日間）

スウェーデン手作り旅行

6月下旬～7月初め（10日間）

イタリア旅行

9月末～（10日間）

*資料をご請求下さい。

スタッフより

講習会に参加して賑やかに好きな手仕事に没頭、又毎日講習で紡ぎやフェルトなどひとつの事に集中して講習を受けることができます。皆さんのお申し込みお待ちしています。



詳細と最新の情報は www.ananda.jp へどうぞ！

アナンダコラム

不登校、引きこもりなどの子供達を助けていたる知人から、ある日、私にメールがきて、「子供が自分で稼げるような仕事を考へてくれませんか。インドでなら何か可能ではないですか」と問われた。これにはもうずいぶん長い間、返事が出せていない。なぜならそれは単純ではなく本人の心次第なのだ。私も不登校、引きこもりなどの子供達をアナンダの作業員として何人も雇ったことがあった。が、しかし、事はそう単純ではない。一人は手もよく動き、織り木枠などの釘打ちも上手くできた、がしかし、その仕事をしながら自分が他人から見られているという意識があって、いく日経っても、それが消えない。自分は、とても努力してくぎ打ちを続けているのだ。そう外から見える、それを見るのが辛い。何人かに色々な仕事を頼んだが、全員似ていて共感するものが、出てこなかった。当人達は辛いに決まっている、見るのも辛く、みんなの雰囲気で一人去り、二人去りして居なくなった。何が違っているのだろう、それは共有が無い、自己を表現しない、表してはいけないものと思っている、何だ、これは。インドでは子供が言う言葉で、「生きる」とは「欲する」こと、「欲する」のは「我」という。「我」が無くては「欲する」は生じない。

日本の子供達のことを考えると、多分育つ環境で、親など周囲が世話を焼きすぎているのではないかと思った。色々環境は違うだろうが、その

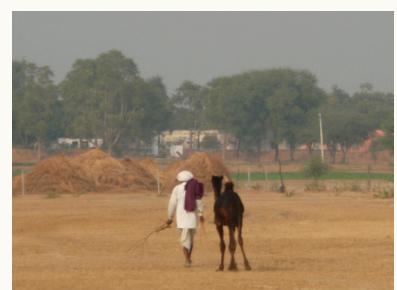
子供達が欲したこと、したいことを「そんなことしたら笑われる」とか「みんなと違う、変だ」と評したのでないか？

「我」が何かを欲し「我」が為す、その結果が我を成長させる。

さて、ヒト（人）は一体何を欲しているのだろう。学生時代のこと、同級生で戦争中のことを真面目に「戦争中は良かったよなあ」と言ったのを覚えている。その理由は戦争というものが物事の価値を明らかにしてくれていた、というのだ。私は驚いて「え～、本当にそう思うのか？」と大声で問うた。彼は真面目にそう思うと応じた。彼は卒業後自殺している。さらにもう一人、人柄がよく尊敬する人が、戦時中の学校は素晴らしいと言った。自分は朝礼で号令を発する委員だったのだそうだ。

「東向け、東」「天皇陛下バングラーイ」というと生徒全員がビシッと乱れなく動いて見事だったよ。と話していた。

ヒト（人）は一体何を欲するものなのだろう。（阿）



紡ぎ車と世界の原毛 アナンダ

〒408-0033 山梨県北杜市長坂町白井沢2995

営業時間：平日9～17時 定休日：土日祝祭日

*連休とその前後や、真冬の天気が悪い時などは、ご来店前に電話で営業時間をご確認いただけます。



ご注文・講習会のお申込み・お問い合わせは・・・

ネット店
ananda.jp

メール
wool@ananda.jp

でんわ
0551-32-4215

ファックス
0551-32-4830